

東京新田 地名に残る新田開発

徳川の世から明治新政府に、公務員であった武士階級が仕事にあぶれて社会問題に！？

クリメカのある野田、東葛地区は下総台地と呼ばれる広大な台地に含まれています。

江戸時代には幕府直轄の牧場があり、小金牧、佐倉牧と呼ばれていました。明治維新で体制が大きく変わり士族階級はじめ多くの失業者が出ました。放置すると社会不安に発展するため後の三井財閥に依頼して新田開発を行いました。開墾順に地名を付け、現在もその名が残っています。

クリメカ近郊は4番目の豊四季と12番目の十余二

小金牧・佐倉牧の開墾地			
開墾地	読み	牧名	現在の市町村
初富	はつとみ	中野牧	鎌ヶ谷市
二和	ふたわ	下野牧	船橋市
三咲	みさき	下野牧	船橋市
豊四季	とよしき	上野牧	柏市
五香	ごこう	中野牧	松戸市
六実	むつみ	中野牧	松戸市
七栄	ななえ	内野牧	富里市
八街	やちまた	柳沢牧	八街市
九美上	くみあげ	油田牧	香取市
十倉	とくら	高野牧	富里市
十余一	とよいち	印西牧	白井市
十余二	とよふた	高田台牧	柏市
十余三	とよみ	矢作牧	成田市・多古町

三井高福【みつい・たかよし】

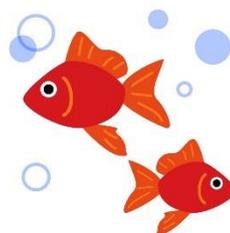
江戸時代より続く三井家惣領家の8代目。天保期以降の経営難の時期に家政の改革に取り組んだ。

幕末～維新の複雑な政局を乗り切り、三井銀行、三井物産を興し、財閥としての基礎を築く。

公事業にも尽力し、現在の柏の葉エリアを含む幕府の放牧場・小金牧の開墾事業にあたる。



内職定番の傘張り



きんぎょの飼育



あさがお栽培

CRIMECA